



和気あいあいと練習に励む会員の皆さん

みんなのた場

サ一フル
仲問
⑫
石巻「コカリナ合奏団」 ぎっころの詩
素朴な音色を楽しみ
心を一つにして演奏

コカリナは、ハンガリー発祥の木製のオカリナです。「石巻コカリナ合奏団」は、13年ほど前に発足し、現在は石巻市と美里町の50〜70代の愛好者ら14人の会員がいます。毎月第1、第3土曜日、各自が小ささまざまな種類のコカリナを持ち寄って蛇田公民館に集まり、その日の練習曲を息を合わせて演奏

「会員の皆さんと心を一つにして演奏するのが、一番の楽しみです」と魅力を語ります。尾花栄咲さんは、美里町から練習に通っています。「以前はオカリナを習っていましたが、石巻市で開催された演奏会で披露されたコカリナの音色に魅了され、4年前に入会しました」と話し、和気あいあいと練習できる雰囲気を毎回、楽しみにしています。演奏の指導を行う阿部加代子代表は、コカリナの魅力について「木製ならではの素朴な音色」と紹介。「発足して13年になるので、いつかは記念コンサートが開催したいです」と今後の目標について話しています。

Life Across the Pacific

～太平洋を越えて～ I

米国カリフォルニア州出身で、日系アメリカ人のリュウガ国際交流員のコラムです。「Life Across the Pacific」とは太平洋の向こうの生活ということです。石巻はカリフォルニアと同じく太平洋に面しています。太平洋の両側で生活してきた経験を生かして石巻とカリフォルニアのそれぞれの魅力を語ります。



国際交流員のリュウガさん

Hello, nice to meet you! My name is Ryuga and I am an American from the state of California, currently working for the tourism division in Ishinomaki City Hall as a Coordinator for International Relations (CIR). I will be writing a column called "Life Across the Pacific" in the city paper every other month from now. My parents are immigrants from Japan, so I grew up speaking some Japanese. I studied at the University of California, Berkeley and graduated last year in May. While in university, I worked for a summer program that taught leadership skills to students from Tohoku, and that experience made me want to learn more about how tsunami-hit areas like Ishinomaki recovered and rebuilt.

Although California and Ishinomaki both face the Pacific Ocean, my hometown is very different from Ishinomaki in everything from climate to way of life. I have been here for a little over a year now, and have discovered many wonderful places and events. I would like to share some of these discoveries, as well as information about my hometown through these articles.

One place I love in Ishinomaki is the recently opened Kenjo no Sato Ogatsu, a facility with several shops selling local goods and a small museum dedicated to Suzuri (calligraphy inkstones). While these inkstones are not used in America, I thought they were beautifully made and was inspired by how local traditions are being valued and passed along to the next generation. The promenade outside the building offers a stunning view of a bay surrounded by green mountains.

I also help run our office's Instagram account. Please check it out!
@visit_ishinomaki

はじめまして！石巻市観光課国際交流員のリュウガです！これから市報に「Life Across the Pacific」というコラムを定期的を書くことになりました。カリフォルニア州出身の日系アメリカ人です。去年の5月にカリフォルニア大学バークレー校を卒業しました。在学中、東北の高校生が来校するプログラムに関わっていて、被災地の復興状況に興味を持つようになりました。

カリフォルニア州と石巻は太平洋でつながっていますが気候、食、文化、そして人々の普段の生活まで異なります。石巻に来てから1年ちょっとたちましたが魅力的な場所をたくさん見つけました。外国人目線の石巻の魅力、そして出身のカリフォルニアの魅力を両方紹介していきたいと思います。

おすすめ場所の一つは最近できた硯上の里おがつです。物産店や硯の展示を楽しめる施設です。アメリカには硯が全然ありませんが、雄勝石がとてもきれいで地域の伝統が大切にされ、次世代に受け継がれることがとてもすきだと思いました。外のテラスから海と青い山の絶景を眺めることもできます。

観光課のインスタグラムにも投稿しています。ぜひご覧ください！
@visit_ishinomaki



おすすめ場所の雄勝硯伝統産業会館

石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより

第16号

こんにちは、桜坂高等学校です。春から学校行事のほとんどが中止となっていましたが、秋本番となり、「吹奏楽部定期演奏会」や「体育大会」が開催されました。



吹奏楽部の定期演奏会は、10月3日・4日の2日間開催しました。2日目2ndステージには、今年初の試みとして、合唱部の発表も行いました。練習の成果を発表する場を失っていた生徒たちにとって感謝の気持ちいっぱいのステージになりました。



2ndステージで歌声を披露した合唱部の皆さん



10月8日・9日は、体育大会。初日は雨。放送による開会式・体育館での競技が行われました。晴れた2日目の午前、校庭で学年対抗綱引き・学年別学級対抗リレー・部活動対抗リレー・長縄跳び。体育館では各種球技が行われ、午後には各種決勝戦などが行われました。今まで中止になった学校行事の分もパワー全開！



石巻 堤防に流れる心地良い旋律



ミニ音楽イベント「かわべでライブ」



雄勝 火災時の放水活動を円滑に

消防団地区団が技術講習会

市消防団雄勝地区団は9月27日、雄勝湾漁港前で技術講習会を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった地区団消防演習の代替として、新入団員・新幹部研修を兼ねて実施しました。火災時でのポンプの適切な運用方法の確認と放水訓練による技術向上を目的としており、当日は河北消防署雄勝出張所員の指導のもと、参加した団員は訓練に真剣に取り組みました。



ミニ音楽イベント「かわべでライブ」が9月22日と23日、いしのまき元気いちば前の中央地区堤防で開かれました。2日間で県内の音楽グループ10組が出演し、心地良い歌や演奏で、観客を魅了しました。石巻の夏の恒例イベント「トリコロレ音楽祭」が、今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。「withコロナ時代」の音楽行事のテストケースとして、街づくりまんぼうが同音楽祭実行委員会と協力して開催しました。



桃生 個性あふれる「だるま」描く

長生大学の21人参加し、教養講座

桃生町長生大学の本年度第3回教養講座が9月16日、桃生公民館で開かれ、受講生21人が、墨と筆を使った縁起物のだるまの描き方を学びました。同大学書道教室講師の阿部亜矢子さん、前講師の菅原玲子さんが指導。受講生はホワイトボードに掲示された描き方の手順や見本も参考に、だるまを半紙に描写し、筆遣いにも工夫を凝らし、個性あふれる「だるま」に仕上げていました。



河南 5種目に子どもたちの歓声

「スクエア」の親子運動あそび会

「親子運動あそび会」が9月27日、河南農村環境改善センターの多目的ホールで開催されました。地域の子育て支援団体などで組織する河南子育て支援ネットワーク「スクエア」が主催し、乳幼児とその保護者、スタッフ合わせて約90人が参加。親子が協力して穴の穴に玉を入れる「アニマル玉入れ」や「めざましジャンプ体操」などの5種目を行い、子どもたちの歓声が響きました。



牡鹿 手作りキーホルダーに満足

ビジターセンターで鹿角使い体験会

鹿の角でキーホルダーを作る体験イベントが9月19日と21日、「ホエールタウンおしか」にある牡鹿半島ビジターセンターで開かれました。半島に多数生息する鹿への知識を深めてもらおうと企画され、シルバーウィークを利用して立ち寄った家族連れや観光客約40人が体験。直径約3センチ、厚さ約1センチに輪切りした鹿の角を紙やすりで丁寧に磨き、お気に入りの作品に仕上げていました。



北上 動物の生活「うんち」で解明

川のビジターセンターで調査イベント

排せつ物から野生動物の生活を学ぶ「うんち探偵になろう！」が10月4日、十三浜の石巻・川のビジターセンターで開催されました。市内の小学生と保護者ら13人が参加し、地域環境計画(仙台市)の野生生物管理部主任、吉田淳久さんらを講師にセンターの園庭に隠されたウサギ、テン、キツネなどのうんち(レプリカ)を探索。粘土で動物のうんちも作り、動物への理解を深めました。

